

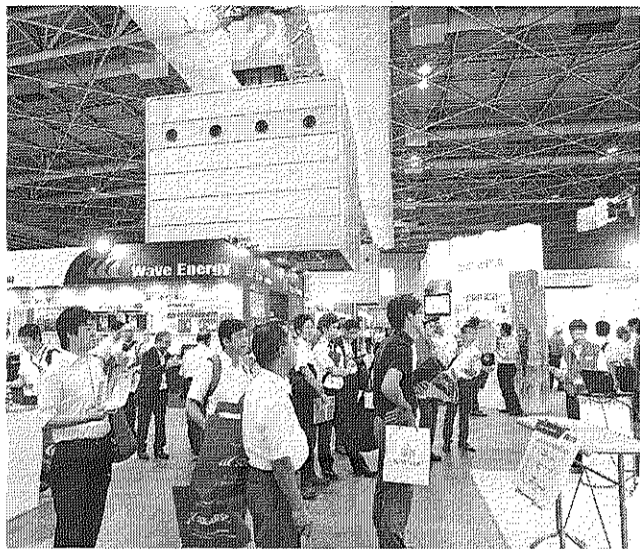
イベントレポート

3日間合計で1万8,000人あまりがインテックス大阪に登場!

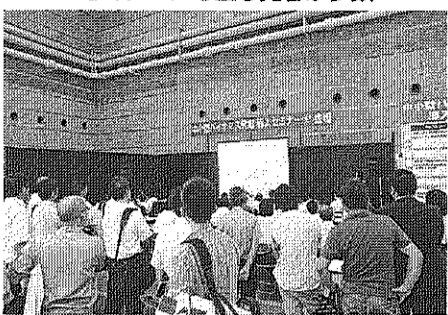
『関西』スマートエネルギーWeek2016

『関西』スマートエネルギーWeek 2016 盛況のうちに閉幕

特集



セミナーにも立ち見客が多数

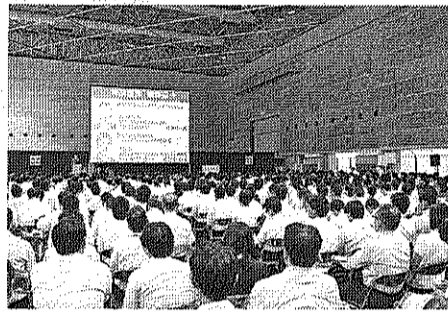


西日本最大のエネルギー技術関連総合展示会「関西スマートエネルギーWeek 2016」が、9月7日(水)から9日(金)までの3日間、大阪市住之江区のインテックス大阪で開催された。リードエグジビジョンジャパン主催の同展は今年で4回目。回を重ねる毎に規模を拡大し、去年までの太陽電池、太陽光発電システム施工、二次電池、スマートグリッド、電力自由化の5テーマに加え、今年は水素・燃料電池展、バイオマス発電展を新

開催された多くの講演やセミナーは、好評。特に、7日に開催された、電力自由化EXPO特別講演では、電力自由化という文脈では守勢と捉えられがちな関西電力の藤野氏が、首都圏エリアやガス事業など、新たなビジネス領域で果敢に攻めていくという姿勢が注目を集めた。

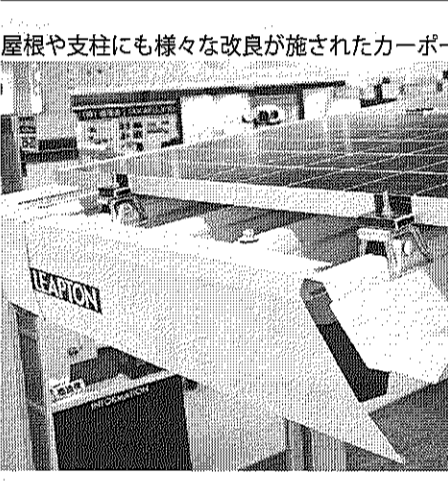
講演やセミナーにも数多くの来場者が参加。開催された多くの講演やセミナーは、好評。特に、7日に開催された、電力自由化EXPO特別講演では、電力自由化という文脈では守勢と捉えられがちな関西電力の藤野氏が、首都圏エリアやガス事業など、新たなビジネス領域で果敢に攻めていくという姿勢が注目を集めた。

このほか、各展示会毎に開かれた技術セミナー等には、トータルで4761人が参加。座席に収まりきれず、立ち見も出る状況であり、実際にはもっと多くの人々が参加を希望していたと思われる。



多くの聴衆が詰めかけた特別公演では、当日椅子を追加する場面も見られた

来年は9月20日(水)から22日(金)に開催予定。既に多くの出展企業が来年の参加申込を済ませるなど、関西の盛り上がりを実感できる3日間であった。



屋根や支柱にも様々な改良が施されたカーポート



一押しはSOLGRIDシリーズ新型

パワーエレクトロニクス技術でエネルギー資源の有効活用を貢献する新電力工業。今回のブースの中心は、やはりSOLGRIDシリーズの新製品。低圧連系システムに最適化した出力容量12.3kwの新製品「PVS012T200B」は、調達・設置・配線工事・メンテナンスなどのコスト削減が可能で、優れたコストパフォーマンスが特徴。

このほかにも、EV・PHEV用の急速充電器及び普通充電器、さらに家庭用創設蓄電システム向けハイブリッドパワーコンディショナなどを展示。数多くの新製品を展示した同社、SOLGRIDシリーズ用の重畳書やPHEV用の急速充電器及び普通充電器、さらに家庭用創設蓄電システム向けハイブリッドパワーコンディショナなどを展示。数多くの新製品を展示した同社、SOLGRIDシリーズ用の重畳書やPHEV用の急速充電器及び普通充電器、さらに家庭用創設蓄電システム向けハイブリッドパワーコンディショナなどを展示。

太陽光発電総合システムとしての使い勝手も考慮。ムメーカーのリープソン エナジーのブースでは、ソーラーカーポートの新製品「SUNPORT Smart Type」電池パネルの積載を前提とした構造改良で、従来品にも増して利便性が大きく向上。たとえば、支柱の筋交いをなくし、太陽電池パネルの積載を前提とした構造改良で、従来品にも増して利便性が大きく向上。たとえば、支柱の筋交いをなくし、太陽電池パネルの積載を前提とした構造改良で、従来品にも増して利便性が大きく向上。

カーポートとしても高性能。Lのカットモデルを展示。ブース内にステップを設置し、カーポート上に載せたパネルも実際に見られる工夫も。同製品は、カーポートとしての強度を保ちながら、カーポートに駐車した自動車のドア開閉をスムーズに行えるように改良した。太陽電池パネルについて、雨漏れに強い設置方法を採用し、さらに耐積雪最大80kg/m²に標準対応。



踏み台を用意して屋根の上をアピール

このほかにも、ブースでは太陽電池モジュールをはじめ、多様なニーズに幅広く対応する各種アルミ製台、独自ブランドのパワーコンディショナ、メンテナンスサービスなどを紹介。総合システムメーカーならではのブースに、施工業者をはじめ、多くの来場者が詰めかけていた。

翔栄クリエイト。稼げる太陽光3点セットとバイオマス発電、事業の実現可能性を大幅にサポート。産業用太陽光のEPC。位モデルとして3100w/60セルのパネルと、風速45km/h対応の6点留架台にアップグレードしたセイト。事実、投入機材を吟味することで投資コストの引き下げが実現でき、単結晶パネル・高効率分散型パワコン・強靱率回収と系統安定の架台の3点セットで1kwあたり99900円、上載の推奨が当然となった。

3点セットが目玉の翔栄クリエイトのブース。今回の展示会、とはいえない印象も覚える。え、過積載どころか認定の敷地も存在する。こうした案件に対し、同社は知識と技術と経験で発電所としての成立性を担保するコンサルとしての実力をアピールする。

また今回、バイオマス発電事業についても展示。実績豊富な発電プラントを2ヶ所出力で11億9900万円を提供するもの。同社では、プラントの施工、電気工事、保守、ファイナンスから燃料手配まで、一括でターニングを提供できる体制を構築。派手さはないが、太陽光とは異なり、ロジスティクス面が重視される木質バイオマスで、かゆいところに手が届くソリューションは、参入の際の作業効率を向上、工期短縮を実現したい。

バイオマス発電も実績をアピール